

【写真 1】 障害者向け多機能センター



日付: 2012年10月2日 場所: ビエンチャン市

説明: 2012年10月末に完成した障害者向け多機能センター。写真撮影時は内装工事を継続中。

【写真 2】 障害者向け多機能センター開所式



日付: 2012年11月14日 場所: ビエンチャン市

説明: 障害者向け多機能センター開所式。横田順子駐ラオス日本国大使及びオンチャン・タマヴォン労働社会福祉大臣が参列した。

【写真 3】調理・食堂経営研修



日付: 2012年10月2日 場所: ビエンチャン市

説明: 第1回目研修の様子。足が不自由な障害者も多いため、座ったままの体勢で調理をするようにした。

【写真 4】調理・食堂経営研修



日付: 2012年10月9日 場所: ビエンチャン市

説明: 第1回目研修の様子。調理最終日は、受講者が習得した内容について発表した。写真の発表者は聴覚障害があるため、手話での発表を行った。

【写真 5】 障害者向け多機能センターに併設されたレストラン



日付: 2012年12月20日 場所: 障害者向け多機能センターに併設されたレストラン

説明: 調理・食堂経営研修受講生が働くレストラン。昼食時は LDPA 職員や近隣住民が利用している。

【写真 6】 イベントでのキノコ販売



日付: 2013年2月2日 場所: ビエンチャン市内

調理・食堂経営研修の受講生が屋台を出店し、キノコ栽培研修で収穫したキノコの販売を行った。また、来訪者に本事業の活動を紹介した。写真右および写真中央右は当会駐在員。

【写真 7】 障害者グループによる食品販売



日付: 2013年4月3日 場所: ビエンチャン市タンミサイ村

第2回目の調理・食堂経営研修に参加した障害者が自宅で豆乳とかぼちゃクラッカーを販売している様子。

【写真 8】 キノコ栽培研修



日付: 2012年12月11日 場所: 障害者向け多機能センター

説明: 第3回目研修の様子。キノコを培養するおがくずをビニール袋に詰めている。

【写真 9】キノコ栽培研修



日付: 2013年2月27日 場所: ビエンチャン市

第3回目研修受講者が、研修終了後に自宅で栽培を始めたキノコ。

【写真 10】キノコ栽培研修



日付: 2013年1月31日 場所: ビエンチャン市

説明: 障害者向け多機能センター内のキノコ栽培研修施設で育ったキノコ。

【写真 11】キノコ料理の販売会



日付: 2013年3月14日 場所: 日本の NGO の IV-Japan が運営する OJT レストラン

料理研修を実施している日本の NGO の IV-Japan と共に研修で栽培したキノコを使った料理を提供するイベントを開催し、来訪者に本事業を紹介した。写真中央右は当会駐在員。

【写真 12】障害者向け多機能センター訪問イベント



日付: 2013年1月17日 場所: 障害者向け多機能センター内のバリアフリー展示コーナー

説明: 本事業に携わった LDPA 職員(写真中央)がバリアフリーの基準について、参加者に説明をしている様子。

【写真 13】 障害者向け多機能センター訪問イベント



日付: 2013年3月1日 場所: 障害者向け多機能センター内のバリアフリー展示コーナー

説明: 当会職員(写真右)が、センター訪問イベントに参加したラオス国立大学の学生に歩行補助具の使用方法について説明をしている様子。

【写真 14】 障害者向け多機能センター内のバリアフリー環境



日付: 2013年3月13日 場所: 障害者向け多機能センター内のトイレ

説明: 手すり取り付けられた西洋式トイレを利用する障害者(LDPA職員)

【写真 15】 郡病院バリアフリー工事



日付: 2013年3月13日 場所: ビエンチャン県バン・ソムサヌック村

説明: ハンセン氏病感染者が多く住むバン・ソムサヌック村内のクリニック玄関に作られたスロープは、住民により利用されている。

【写真 16】 送迎用車両を利用する障害者



日付: 2013年1月17日 場所: ビエンチャン市

説明: 障害者向け多機能センターで行われるバリアフリーワークショップに参加するため、送迎用車両で同センターに向かう参加者。